

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる 自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている 	

授業日	6/19(水)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 7 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 ・社会課題2について、インタビューに適切に質問し、情報をさらに深掘することができる。		
時間 授業内容	0	復習 インタビューガイドの確認	
	10	インタビュー 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン東京事務局 小嶋新 様 ※インタビュー内容の詳細については、報告書掲載の事前許可を取っていないので割愛する。 (事前準備) ・調査対象者を決め下調べをする(前回の授業) ・インタビューガイドの作成(前回の授業) ・司会者2名を決める(前回の授業) ・あらかじめ受講生徒から募集した質問を整理する(当日2日前に司会者ミーティングを実施) (当日) ・司会者2名がインタビューガイドに従い、司会進行する ・疑問に思ったこと、質問したいことがあれば都度質問する(半構造部化インタビュー)	
	50	振り返り 今日のインタビューで、印象に残ったこと、考えたことをロイロノートの提出箱に提出。	
			
			
評価方法	① インタビューガイドに従い、円滑にインタビューを進行できる。 ② あらかじめ決められた質問以外に、回答内容に応じて質問を投げかけ、掘り下げていくことができる。		
宿題指示	今日のインタビューで、印象に残ったこと、考えたことをロイロノートの提出箱に提出。当事者・関係者の方の生の声を聴いて、リサーチクエスト(探究上の問い)に関して、どのように考えが深まったかを中心に書くこと。		